

第4回 日本静脈経腸栄養学会 九州支部学術集会

日時：2012年9月29日（土）

会場：JR HAKATA CITY 「JR 九州ホール 9F」

当番司会人：海塚安郎先生（製鉄記念八幡病院 救急・集中治療部）

09:40 - 09:45	開会の辞 当番司会人：製鉄記念八幡病院 救急・集中治療部部長 海塚安郎
09:45 - 10:45	教育セミナー① 座長：宮崎江南病院 副院長 白尾一定 「経管栄養における半固体化栄養法の課題と展望」 演者：社会保険下関厚生病院 副院長 山下智省
10:45 - 11:45	教育セミナー② 座長：久留米大学病院 看護師長 高松むつ子 「NSTと栄養管理における看護師の役割 ～那覇市立病院の取り組み～」 演者：那覇市立病院 看護部主任 清水孝宏
11:45 - 12:20	休憩（司会人会）
12:20 - 13:20	ランチョンセミナー 司会：製鉄記念八幡病院 救急・集中治療部部長 海塚安郎 「栄養療法におけるリスクマネジメント －TPN管理・EN管理とその問題点－」 演者：久留米大学医学部附属病院 医療安全管理部教授 田中芳明
	15分休憩

13:35 - 14:45 一般演題 8 演題

座長：佐賀県県立病院好生館 外科部長 佐藤清治

【一般演題 1】

「GPS 分類での栄養評価の有用性の検討」

富野真美 井樋涼子 久米由季 吉川朱美 高松むつ子 1) 川口巧 2) 3) 的野吾 4)

久留米大学 集学癌治療センター1) 消化器疾患情報講座 2) 久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 3) 久留米大学医学部外科学講座 4)

【一般演題 2】

「慢性肝疾患を有する入院患者の転倒と栄養状態との関連」

末継拓郎 1) 大津山樹理 1) 今永美波 1) 石井久美子 1) 谷口英太郎 2, 3) 川口巧 2, 3) 伊藤実 2, 3) 居石哲治 2) 大塚百香 4) 田中粹子 5) 佐田通夫 2, 3) 後藤恵美子 1) 小野縁 1)

久留米大学病院 看護部 1) 久留米大学医学部内科学講座 2)

消化器疾患情報講座 3) 久留米大学病院栄養治療部 4) 栄養部 5)

【一般演題 3】

「当院の入院時の栄養摂取状況とリハビリテーションの関係」

早川智之 医療法人 福岡桜十字 友愛病院

【一般演題 4】

「NST 対象症例におけるリハビリテーションと栄養状態の関係性」

鈴木裕也 社会医療法人製鉄記念八幡病院 リハビリテーション部

海塚安郎 同 救急・集中治療部

【一般演題 5】

「拡大手術後の感染性合併症に対する経腸栄養の有用性」

内藤病院外科 眞田雄市 内藤壽則

【一般演題 6】

「当院の NST 活動と今後の方針」

向井路子 鹿児島県立薩南病院 NST 委員

【一般演題 7】

「当院における NST 稼働後の栄養投与ルートの変化と中心ライン血流感染

(CLABSI) および抗菌薬使用の推移の検討」

川口洋平 長由香里 國分詩子 野田哲寛 一ツ松薫 一ツ松勤

社会医療法人天神会新古賀病院

【一般演題 8】

「ターミナル患者の食の援助を考える ~尊厳ある食・栄養ケアへの取り組み
~」

上野友美 松本有紀 猪原早千穂

製鉄記念八幡病院 看護部

15 分休憩

15:00 - 16:00 教育セミナー③

座長：製鉄記念八幡病院 薬剤部 後藤涉

「NST に集う専門職」

演者：福山大学薬学部 医療薬学総合研究部門教授 大濱修

16:00 - 16:05 閉会の辞

当番司会者：製鉄記念八幡病院 救急・集中治療部部長 海塚安郎

「第4回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会」を終えて

平成24年9月29日（土）、第4回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会をJR博多駅ビル内JR九州ホールにて開催いたしました。当日は、台風19号の九州接近もあり交通の面で心配がありましたが、結果として多数の皆様に参加いただき充実した集会となりました。ここに御礼とともに開催のご報告を申し上げます。

教育セミナーでは「経管栄養における半固体化栄養法の課題と展望」（社会保険下関厚生病院 副院長 山下智省先生）、「NSTと栄養管理における看護師の役割」（那覇市立病院 看護部主任 清水孝宏先生）、「NSTに集う専門職」（福山大学薬学部 医療薬学総合研究部門教授 大濱修先生）の3題のご講演いただきました。会員にとって栄養療法、NSTを多方面から考える上で非常に有益なご講演でした。

ランチョンセミナーでは「栄養療法におけるリスクマネジメント—TPN管理・EN管理とその問題点—」（久留米大学医学部附属病院 医療安全管理部教授 田中芳明先生）と題した、栄養管理全般にわたる要点を総括した有益なご講演をいただきました。さらに、一般演題8題の発表がなされました。各セッションで演者を交えた質疑応答や討論が活発に行われました。

台風接近のなか、参加人数は500名にのぼりました。記載のあった職種別の内訳は以下の通りです。医師：27、薬剤師：75、栄養士：185、看護師：160、言語聴覚士：11、理学療法士：7、作業療法士：2、歯科衛生士：3、臨床工学士：1、学生：1。

教育講演、ランチョンセミナー、一般演題の講師、演者、座長、参加者の皆様に改めまして心から御礼申し上げます。今回の開催につきましては、準備から当日の運営まで、支部会事務局の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申しあげます。お蔭様で無事滞りなく終了いたしました。また、協賛頂いた企業各社にも深く御礼申し上げます。次回第5回以降も本学術集会が栄養療法の質の向上のみならず会員相互の情報交換の場として活用され、発展することを切に希望しております。

第4回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会
当番世話人 製鉄記念八幡病院 海塚安郎